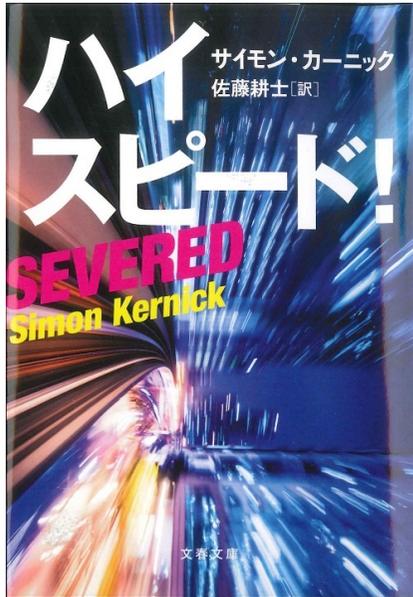


# COMING SOON

文藝春秋の翻訳小説・5月の新刊



3時間ひまがある？  
ならばこれを読むべし。  
『ノンストップ!』の著者が贈る、  
一気に読みサスペンス。

『ハイスピード!』

サイモン・カーニック / 佐藤耕士訳

文春文庫

開巻1行め：主人公は眼を覚ます。5行め：ベッドが血みどろだ。  
そしてページをめくれば 隣に女の首なし死体が！  
さあ、350ページにわたる決死の疾走のスタートだ。

物語がなかなか始動しない眠たいミステリに飽きていませんか。ならばこれ。日常描写はゼロパーセント！ 首なし死体の隣で眼をさました元兵士タイラーは、この惨殺事件のぬれぎぬを着せられ、陰謀に巻き込まれます。ここまでわずか12ページ。黒幕の命じるまま全容の知れぬ陰謀の片棒を担がされ、ロンドンを駆けめぐりながら、彼はかつてアイルランドで身につけた兵士としてのスキルを使い、反撃の機会をうかがう……『ノンストップ!』を上回る体感速度。映画『96時間』を思わせる疾走と死闘。3時間の手に汗にぎる読書体験をお約束します。

世のガイブン読者よ、  
これはマスト・バイである。  
すべての小説好きに捧ぐ、  
至福のアンソロジー。

『世界堂書店』

米澤穂信 編

文春文庫

大の小説好き 米澤穂信さんが、最愛の短編小説たちを  
英米仏はもちろんのこと、台湾、フィンランド、ギリシャ他、  
世界中から選びぬき、ぜいたくな一冊に仕上げました。

小説を読む快樂 それがここまで詰まった本にはなかなかお目にかかれない。本書のゲラを読みながら、そんなことをしみじみ思っていました。意外な結末。意地悪な話。ふしぎな物語。思わず脱力するオチ。ミステリもあれば奇妙な味もあり、奇想SFもあればガチな現代文学もあり。そんな硬軟軽重とりまぜた見事な小説たちを、米澤穂信さんは心底から楽しそうに選んでくれました。フランス作家の書いた光源氏の物語にはじまり、日本の名手による静かで巧緻きわまる怪異譚まで全15編。小説だけがもつ魔法を、存分に味わってください。

